

# QuarkXPress 2019 を開始



# Contents

関連ドキュメント .....	1
必要システム構成 .....	2
必要システム構成: <b>macOS</b> .....	2
必要システム構成 <b>Windows</b> .....	2
インストール : <b>macOS</b> .....	4
インストール : <b>Windows</b> .....	5
サイレントインストールの実行 .....	5
サイレントインストールの準備: WindowsWindows .....	5
サイレントインストールの実行: Windows .....	5
インストール後のファイルの追加: <b>Windows</b> .....	6
<b>XTensions</b> モジュールのインストール .....	7
環境設定 .....	8
アップグレード .....	9
<b>QLA</b> によるインストールまたはアップグレード .....	10
登録 .....	11
アクティブ化 .....	12
アクティブ化 .....	12
アクティブ化のトラブルシューティング .....	13
再アクティブ化 .....	13
二重アクティブ化ポリシー .....	14
デモンストレーション版モード .....	15
ライセンス転送 .....	16
アンインストール .....	17
アンインストール : <b>macOS</b> .....	17
アンインストール <b>Windows</b> .....	17

トラブルシューティング .....	18
<b>QuarkXPress Document Converter</b> .....	<b>20</b>
<b>Quark</b> への連絡 .....	<b>21</b>
南北アメリカ .....	21
南北アメリカ以外の国々 .....	21
法律上の注記 .....	<b>22</b>

## 関連ドキュメント

QuarkXPressの使用方法の詳細は、以下に記載されている、その他のQuarkXPressドキュメントや資料を参照してください。

ドキュメント名／アイテム名	説明	入手できる場所
QuarkXPressガイド	QuarkXPressのエンドユーザー向けに作成されているガイドです。このガイドを使用して簡単に必要な情報を調べながら、作業を進めてください。	<a href="http://www.quark.com/support/documentation">www.quark.com/support/documentation</a>
QuarkXPressの新機能	QuarkXPress.の新機能についてまとめたものです。	<a href="http://www.quark.com/support/documentation">www.quark.com/support/documentation</a>
QuarkXPressによるデジタルパブリッシング	QuarkXPressを使用したデジタルパブリッシングのガイドです。	<a href="http://www.quark.com/support/documentation">www.quark.com/support/documentation</a>

# 必要システム構成

## 必要システム構成: macOS

### ソフトウェア

- macOS® 10.12.6 (Sierra)、macOS® 10.13.6 (High Sierra) および macOS® 10.14.5 (Mojave)

### Hardware

- デュアルコア以上のCPU
  - QuarkXPress用に4GBのRAMが利用可能なこと
  - インストールに2GBのハードディスク空き容量
- ➡ パフォーマンス向上のため、複雑な（グラフィックを多用する）または長いドキュメントの作業を行う場合は、より高性能なハードウェアを使用し、QuarkXPress用により多くのRAMを利用可能にすることをお勧めします。

### その他

- アクティベーションのためのインターネット接続

## 必要システム構成Windows

### ソフトウェア

- 2014年4月の更新プログラムのロールアップ（KB2919355）および2014年3月のサービススタックの更新（KB2919442）が適用されたMicrosoft® Windows® 8.1（64ビット）、Windows® 10バージョン1803（64ビット）またはそれ以降
  - Microsoft .NET Framework 4.0またはそれ以降
- ➡ Windows 8.xでは、Universal C Runtimeのアップデートが必要です。詳細は、次のリンクを参照してください。 [support.microsoft.com/en-in/kb/2999226](https://support.microsoft.com/en-in/kb/2999226)

### Hardware

- デュアルコア以上のCPU

- QuarkXPress用に4GBのRAMが利用可能なこと
- インストールに2GBのハードディスク空き容量

➡ パフォーマンス向上のため、複雑な（グラフィックを多用する）または長いドキュメントの作業を行う場合は、より高性能なハードウェアを使用し、QuarkXPress用により多くのRAMを利用可能にすることをお勧めします。

### その他

- アクティベーションのためのインターネット接続

## インストール : macOS

QuarkXPressをインストールするには、下記の手順に従ってください。

1. ウィルス防御ソフトウェアをすべて無効にします。コンピュータへのウィルス感染が心配な場合は、インストーラファイルでウィルスチェックを実行してからウィルス検出ソフトウェアを無効にしてください。
2. インストーラの.dmg ファイルをダブルクリックし、QuarkXPress アプリ（単一のアプリバンドル）を”Applications”フォルダ、または任意のディレクトリへドラッグします。

# インストール : Windows

QuarkXPressをインストールするには、下記の手順に従ってください。

1. ウィルス防御ソフトウェアをすべて無効にします。コンピュータへのウィルス感染が心配な場合は、インストーラファイルでウィルスチェックを実行してからウィルス検出ソフトウェアを無効にしてください。
2. インストーラアイコンをダブルクリックし、画面の指示に従って操作します。

## サイレントインストールの実行

サイレントインストール機能により、段階的な指示に従って操作しなくても、ネットワークを介してQuarkXPressをコンピュータにインストールできます。この機能は、手動でのインストールが煩雑な大規模なグループインストールの場合に便利です。

## サイレントインストールの準備 : WindowsWindows

Windowsユーザーがコンピュータでサイレントインストールを実行できるようにするには、管理者は下記の変更を行う必要があります。

1. インストーラのローカルコピーを使用して、QuarkXPressをローカルハードディスクにインストールします。インストーラにより、インストーラが配置されているフォルダに“setup.xml”ファイルが作成されます。
2. テキストエディタで“silent.bat”ファイルを開き、次の“setup.xml”ファイルのパスが最初の行にあることを確認します。'[network path of setup.exe file]'/s /v'/qn'
3. QuarkXPressのインストールを許可されたユーザーに対してインストーラおよび“setup.xml”ファイルが入っているフォルダを共有します。

## サイレントインストールの実行 : Windows

Windowsでサイレントインストールを実行するには、エンドユーザーは下記の手順に従ってください。

1. “setup.xml”ファイルと“silent.bat”ファイルが入っている共有フォルダに移動します。
2. “silent.bat”ファイルをダブルクリックし、画面の指示に従って操作します。

## インストール後のファイルの追加 : Windows

インストール後にファイルを追加するには、下記の手順に従ってください。

1. “setup.exe”アイコンをダブルクリックします。  
設定ダイアログボックスが表示されます。
2. 次へをクリックします。  
プログラムのメンテナンス画面が表示されます。
  - 設定をクリックしてインストールするファイルを選択します。新しいファイルをインストールするか、すでにインストール済みのファイルを削除できます。
  - 修復をクリックして、インストール済みファイルに関連した小さな問題を訂正します。このオプションは、ファイル、ショートカット、またはレジストリエントリが不足したり壊れたりした場合に使用してください。
3. 次へをクリックします。
  - 前のダイアログボックスで設定をクリックした場合は、カスタムセットアップ画面が表示されます。必要に応じて変更し、次へをクリックします。プログラムを変更する準備ができました画面が表示されます。
  - 前のダイアログボックスで修復をクリックした場合は、プログラムを修復する準備ができました画面が表示されます。
4. インストールをクリックします。
5. プロセスが完了したことを示すメッセージが表示されたら、完了をクリックします。  
。

# XTensionsモジュールのインストール

QuarkXPressには、デフォルトのXTensionsモジュールのセットが同梱されています。また、Quarkまたはサードパーティによって開発されたその他のXTensionsソフトウェアをインストールすることもできます。

ほとんどのXTensionsには2つの要素があり、1つはXTensionsモジュールの機能用のファイル、もう1つはユーザーインターフェイス用のファイルです。ユーザーインターフェイスのモジュールの名前は、通常は「UI」で終わります。ユーザーインターフェイスのないXTensionsモジュールには、UIファイルは必要ありません。

## macOS

QuarkXPress 2019は、macOS用の「アプリバンドル」としてリリースされています。これを可能にするため、デフォルトXTensionsを含めたすべてのサポート用のフォルダは、内蔵されているアプリバンドル内に移動されました。QuarkXPress 2019は、次の2つの場所から、サードパーティXTensionsを読み込みます。

- `~/Library/Application Support/Quark/QuarkXPress 2019/XTensions`
- `/Library/Application Support/Quark/QuarkXPress 2019/XTensions`

XTensionsがメインライブラリパスに置かれている場合、すべてのユーザーがそのMac上でXTensionsを利用できます。ユーザーのライブラリパスに置かれている場合、そのユーザーのみがXTensionsを利用できます。同じXTensionsがこれらの両方の場所に存在する場合、ユーザーのライブラリの場所に存在する方が優先されます。

- ➡ QuarkXPress2019 で読み込むには、いずれかのフォルダにXTensionsを置く必要があります。QuarkXPressアプリバンドルに変更を加えてはいけません。新しくインストールされたXTensionsモジュールは、次の起動時に読み込まれます。管理：
- ➡ XTensions Disabledフォルダは、Mac用のQuarkXPress 2019 では廃止予定だったため、サポートされなくなります。使用停止になったXTensionsは、次のファイルに記録されます。`~/Library/Application Support/Quark/QuarkXPress 2019/XTSettings.plist`。

## Windows

XTensionsモジュールをWindowsにインストールするには、アプリケーションフォルダ内のXTensions フォルダにモジュールを配置します。新しくインストールされたXTensionsモジュールは、次の起動時に読み込まれます。管理：

# 環境設定

デフォルトでは、QuarkXPressの環境設定はユーザーフォルダに保存されます。これらは、メインバージョンに応じて名付けられたサブフォルダの中に存在するため、複数のバージョンのQuarkXPress がインストールされていても競合しません。

QuarkXPress 2019 アプリバンドル (`Application` フォルダ内) と同じ階層に `Preferences` という名前のフォルダを作成すると、QuarkXPress はそのフォルダを、グローバルな `Preferences` フォルダとして使用します。

`Application` フォルダ内に `Preferences` フォルダを作成することが望ましくない場合、サブフォルダ `QuarkXPress 2019` を作成し、その中にアプリケーション (バンドル) と `Preferences` フォルダを配置します。

# アップグレード

QuarkXPressをこのバージョンにアップグレードするには、下記の手順に従ってください。

1. ウィルス防御ソフトウェアをすべて無効にします。コンピュータへのウィルス感染が心配な場合は、インストーラファイルでウィルスチェックを実行してからウィルス検出ソフトウェアを無効にしてください。
2. *Windows*の場合：インストーラアイコンをダブルクリックし、画面の指示に従って操作します。

On *macOS*: QuarkXPress 2019 2019アプリバンドルを、DMGから自分の用途 フォルダへドラッグします。

- *Windows*: バリデーションコード画面が表示されたら、インストールタイプドロップダウンメニューで**アップグレード**を選択します。アップグレードバリデーションコードが分かっている場合は、**バリデーションコードを入力してください**フィールドに値を入力します。アップグレードバリデーションコードが不明な場合は、**バリデーションコードの取得**をクリックしてQuarkウェブサイトへ移動し、画面上の指示に従ってバリデーションコードを取得してから、**バリデーションコードを入力してください**フィールドにバリデーションコードを入力します。
  - *macOS*: この時点では**バリデーションコード**は要求されません。アプリケーションを初めて起動したときに要求されます。
3. **続ける**をクリックし、画面の指示に従って操作します。
- ➡ インストーラにより、QuarkXPressの新しいコピーがインストールされます。以前のバージョンを置き換えるわけではありません（つまり、QuarkXPress 2018や2017や2016や2015が QuarkXPress 2019に置き換えられるわけではありません）。

# QLAによるインストールまたはアップグレード

Quark® License Administrator (QLA) は、ライセンス販売されるQuark製品を管理するためのソフトウェアです。教育サイトライセンスまたは商用サイトライセンスを購入した場合は、QuarkXPressの購入時にQLA CD-ROMを受け取ります。QLAは弊社ウェブサイトからダウンロードいただけます：<https://qlaweb.quark.com>。QLAは、QuarkXPressをインストールする前に、ネットワーク上にインストールする必要があります。

QLAが既にインストールされているときにQuarkXPressのインストールを開始すると、登録情報の入力後に**ライセンスサーバーの詳細**ダイアログボックスが表示されます。インストールを始める前に、下記のフィールドに値を入力するために必要な情報があるか確認してください。

- ・ **ライセンスサーバーのホスト名/IPアドレス**：ライセンスサーバーとして指定したサーバーのIPアドレスまたはサーバー名を入力します。ライセンスサーバーは、ライセンスクライアントからの要求を処理します。
- ・ **ライセンスサーバーのポート**：ライセンスサーバーのポートの値を入力します。この番号は、QLAソフトウェアをオンライン登録するときに決定されます。ライセンスサーバーのポートは、ライセンスサーバーがフローを要求するときに使用するポートです。
- ・ **バックアップライセンスサーバーのホスト名/IPアドレス**：バックアップライセンスサーバーとして指定したサーバーのIPアドレスまたはサーバー名を入力します。
- ・ **バックアップライセンスサーバーのポート**：バックアップライセンスサーバーのポートの値を入力します。

# 登録

アプリケーションを最初に開始したときに、QuarkXPress 製品の登録パネルが表示されます。**登録**をクリックすると、Quark Webサイトの”オンライン登録”ページへ移動します。この時点では登録はオプションなので、**続ける** をクリックしてスキップします。

オンライン登録できない場合は、連絡先について「[Quarkへの連絡](#)」を参照してください。

QuarkXPressのコピーを登録すると、60日間の無料テクニカルサポートなどいくつかの利点が得られるため、登録をお勧めします。

# アクティブ化

有効な英数字のバリデーションコードを使用してQuarkXPress®をインストールした後、ソフトウェアをアクティブ化する必要があります。

有効な（評価版ではない）QuarkXPressは、アクティブ化せずに30日間実行できます。

アクティブ化とは、インストールしたコンピュータ上でQuarkXPressを無期限で実行できる権限を与えることです。アクティブ化中にインストールキーが生成されQuarkに送信されます。このインストールキーには、ハードウェア構成が含まれています。Quarkはインストールキーを使用してアクティブ化キーを生成して戻します。アクティブ化キーはQuarkXPressのアクティブ化に使用されます。

- ➡ バリデーションコード、インストールコード、アクティブ化コードの包括的な説明については、[Quarkサポートナレッジベース](#)をご覧ください。

アクティブ化されたQuarkXPressは、アクティブ化された特定のコンピュータでのみ実行できます。ソフトウェアを別のコンピュータに移動する場合は、ライセンス転送機能を使用します。詳細は、「[ライセンス転送](#)」を参照してください。

- ➡ Quarkの License Administrator（QLA）を使用してQuarkXPressの使用状況を監視する場合は、QuarkXPressをアクティブ化する必要はありません。
- ➡ 評価版のQuarkXPressが全機能モードで実行されるのは7日間です。その後は、有効なバリデーションコードを入力しないとソフトウェアは起動しません。QuarkXPressを7日間より長く評価する必要がある場合は、弊社のテレセールスチーム [www.quark.com//Buy/QuarkXPress\\_Sales/Customer\\_Service/#phone](http://www.quark.com//Buy/QuarkXPress_Sales/Customer_Service/#phone)へお問い合わせください。

## アクティブ化

シングルユーザー向けのQuarkXPressを使用する場合は、それをアクティブ化する必要があります。有効なQuarkXPressをコンピュータにインストールしたのみでまだアクティブ化していない場合、ソフトウェアを起動するたびにダイアログボックスが表示されます。アクティブ化を開始するには、**今すぐアクティブ化**（Windows）または**続ける**（macOS）をクリックします。**製品のアクティブ化**ダイアログボックスが表示されます。

- ・ インターネット経由でQuarkXPressを自動的にアクティブ化するには、**続ける**をクリックします。
- ・ QuarkXPressをインストールしたコンピュータでインターネットにアクセスできない場合、**その他のアクティブ化オプション**をクリックします。QuarkXPressに、Webブラウザによるアクティブ化のオプションが表示されます。アクティブ化コー

ドの生成に使用するWebページは、インターネットに接続されている任意のコンピュータから開くことができます。

この時点でQuarkXPressのアクティブ化を希望しない場合は、**キャンセル**をクリックします。

QuarkXPressをアクティブ化しない場合は、インストール後30日間使用できます。30日が経過すると、製品はデモンストレーション版モードで動作し、製品版として実行するにはアクティブ化しなければなりません。デモンストレーション版モードでは一部の機能が制限または無効になります。詳細は、「[デモンストレーション版モード](#)」を参照してください。

➡ オンラインでアクティブ化できない場合は、連絡先について「[Quarkへの連絡](#)」を参照してください。

## アクティブ化のトラブルシューティング

自動アクティブ化に失敗した場合、**アクティブ化に失敗**画面が表示されます。

・ ウェブブラウザを使用してアクティブ化するには、**Quarkウェブサイトからアクティブ化**をクリックし、**続ける**をクリックします。

Webでのアクティブ化に失敗した場合は、Quarkのテクニカルサポートにお問い合わせください（「[Quarkへの連絡](#)」を参照）。なお、QuarkXPressが全機能モードで実行されるのは30日間です。その後は、正しくアクティブ化されるまでデモンストレーション版モードで実行されます（「[デモンストレーション版モード](#)」を参照）。

Quarkアクティブ化システムでは、基本プロキシサーバー認証のみをサポートしていません。基本認証以外の認証を使用するプロキシサーバーの場合、インターネット経由のアクティブ化は機能しません。この場合、オンラインウェブアクティブ化（下記のいずれかのリンクを参照）を使用して製品をアクティブ化します。情報保護のため、ウェブブラウザの履歴からアクティブ化キーのページを必ず削除してください。

<https://accounts.quark.com/ActivationServer>

QuarkXPress がアクティブ化されていないときにコンピュータの日付を猶予期間外の日付に変更する、または2038年以降に設定すると、アプリケーションはデモンストレーション版モードでのみ実行されるようになります。この問題を解決するには、コンピュータの日付を現在の日付に戻します。

## 再アクティブ化

アクティブ化後、QuarkXPressは起動するたびにアクティブ化キーの有効性を検証します。QuarkXPressが有効なアクティブ化キーを検出できない場合、Quarkのカスタマーサポートに連絡するか、オンラインフォームを送信、または再アクティブ化フォームをファックス送信して、ソフトウェアを再アクティブ化する必要があります。

重要なハードウェアの変更（Mac上のEthernetアドレスやコンピュータのプロセッサの変更など）を行った場合や、なんらかの原因でアクティブ化のメカニズムに障害が発生した場合は、QuarkXPressを再アクティブ化する必要があります。

アクティブ化データの変更、欠損、または破損がQuarkXPressによって検出されると、アプリケーションに**のアクティブ化 QuarkXPress**ダイアログボックスが表示され、

## アクティブ化

QuarkXPressを再アクティブ化するように求められます。QuarkXPressが猶予期間中の場合、猶予期間は終了します。

- ➡ コンピュータの重要なハードウェアの変更を計画している場合、ライセンス転送機能を使用して、まずQuarkXPressを非アクティブ化し、その後、ハードウェアの変更を行ってから同じコンピュータ上で再アクティブ化することができます。詳細は、「[ライセンス転送](#)」を参照してください。

QuarkXPressを再アクティブ化する場合、30日以内に行ってください。30日が経過すると、デモンストレーション版モードで実行されます（「[デモンストレーション版モード](#)」を参照）。

- ➡ アクティブ化されたQuarkXPressは、再アクティブ化せずに、同じコンピュータで必要に応じて何度でもアンインストールおよび再インストールできます。
- ➡ インストール後や特定の周辺ハードウェアの変更時のアクティブ化の猶予期間は30日間です。重要なハードウェアの変更またはアクティブ化のメカニズムの障害があった場合の猶予期間はありません。

## 二重アクティブ化ポリシー

登録ユーザーは、QuarkXPressのシングルライセンスで、2台のコンピュータ（プライマリコンピュータとセカンダリコンピュータ）にソフトウェアをインストールして使用できます。このポリシーを活用するには、QuarkXPressを両方のコンピュータにインストールし、アクティブ化します。

二重アクティブ化ポリシーはプラットフォームに関係しないため、macOSを実行しているコンピュータ2台、Windowsを実行しているコンピュータ2台、またはmacOS Xを使用しているコンピュータ1台とWindowsを実行しているコンピュータ1台のいずれでも使用できます。

# デモンストレーション版モード

デモンストレーション版モードでは、下記の制限が適用されます。

- ・ ファイルを保存できません。
  - ・ 復帰機能が無効になります。
  - ・ EPSとして書き出し、画像として書き出し、画像の書き出し機能は無効になります。
  - ・ **環境設定**ダイアログボックス（**QuarkXPress / 編集**メニュー）の**保存**ペインで設定を編集できますが、この設定を使用したレイアウトの自動保存やバックアップは行われません。
  - ・ 出力ファイルの収集機能が無効になります。
  - ・ ライブラリを作成できません。
  - ・ ブックを作成できません。
  - ・ 印刷レイアウトを印刷すると、「QuarkXPressデモ」という語が各ページに表示されます。
  - ・ PostScript®ファイルでは、「QuarkXPressデモ」という語がPostScriptの各ページに埋め込まれます。
  - ・ QuarkXPressレイアウトを最大5ページまでPDF形式で書き出すことができます。各ページには「QuarkXPressデモ」という語が表示されます。
  - ・ 一度に印刷されるのは5ページのみです。
  - ・ デジタルレイアウトをHTML5/ePub/Kindle/iOS App/Android Appとして書き出せません。
  - ・ HTML5出版物のプレビューオプションは無効です。
- ➡ インストール直後にQuarkXPressをデモンストレーション版モードで実行した場合、全機能を使用するにはアクティブ化する必要があります。

## ライセンス転送

アクティブ化されたQuarkXPressをライセンス転送プロセスを使用して新しいコンピュータに移動できます。このプロセスでは、ソフトウェアを元のコンピュータで非アクティブ化し、別のコンピュータで再アクティブ化することが必要になります。

- ➡ コンピュータのハードウェア構成の重要な変更を行った場合にもライセンスを転送する必要があります。
- ➡ Quarkのテクニカルサポートに連絡しないでライセンスを転送する場合、インターネットへの接続が必要です。

ライセンス転送機能を使用するには、下記の手順に従ってください。

1. QuarkXPressを起動します。
2. QuarkXPress / ヘルプ > QuarkXPressライセンスを転送。
3. 画面の指示に従います。

# アンインストール

- ➡ アンインストーラは、アプリケーションを実行中のインスタンスを検出すると警告を表示します。アンインストールを開始する前に、アプリケーションを終了してください。

## アンインストール : macOS

QuarkXPressをアンインストールするには、ハードドライブの"Applications"フォルダ（またはQuarkXPressをインストールしたフォルダ）を開き、QuarkXPressアプリをごみ箱にドラッグします。

## アンインストールWindows

QuarkXPressをアンインストールするには、下記の手順に従ってください。

1. スタート > すべてのプログラム > QuarkXPress 2019 > アンインストールを選択します。
  2. はいをクリックします。アンインストーラがアンインストールに必要な情報を収集し、QuarkXPressアプリケーションフォルダの内容が削除されることを知らせる警告が表示されます。
  3. はいをクリックして続行するか、いいえをクリックしてキャンセルします。
- ➡ インストーラをもう一度実行してアンインストールすることもできます。

# トラブルシューティング

QuarkXPressで問題が発生した場合、弊社のサポートへ連絡する前にいくつかの操作を試してください。多くの問題点はこの操作により解決できます。

- **Quark Cache Cleaner**ツールを使用して、**画像キャッシュ**と**環境設定**を削除する

Windows:

1. QuarkXPressが実行中なら、終了します。
2. `QuarkXPress 2019 folder/Tools`へ移動します。
3. **QuarkCacheCleaner**を実行し、**はい**をクリックします。

➡ 環境設定も削除するには、**環境設定**オプションをチェックします。

macOS:

1. QuarkXPressで、**QuarkXPress**メニューの**Quark Cache Cleaner**にアクセスします。
2. 開いているプロジェクトを保存するよう求められます。

➡ QuarkXPressアプリケーションが閉じていて、アプリケーションがドックに追加されている場合、ドックからQuarkXPressアプリケーションのコンテキストメニューを開いて、QuarkCacheCleanerを実行できます。

- **環境設定を手動で削除する**

macOS:

1. QuarkXPressが実行中なら、終了します。
2. `Macintosh HD/Applications/QuarkXPress 2019`へ移動します。“**Preferences**”フォルダが存在するなら、削除します（フォルダを再作成しないでください）。
3. **Option**キーを押したまま、**検索 > ライブラリ**をクリックします。次に、**環境設定**、**Quark**の順に移動します。“**QuarkXPress 2019**”フォルダを、内容ごと削除します。
4. QuarkXPressを再起動します。

すべてが正常に実行されたら、“**QuarkXPress 2019**”フォルダのバックアップを作成します。これによって、次に問題が発生した場合はフォルダを削除する必要なしに、フォルダの内容をバックアップの内容に置き換えるだけで問題を解決できます。

Windows:

1. QuarkXPressが実行中なら、終了します。
2. 開く C:/Program Files/Quark/QuarkXPress 2019."Preferences"フォルダが存在するなら、削除します（フォルダを再作成しないでください）。
3. スタート > ファイル名を指定して実行へ移動し、%localappdata%と入力してEnterキーを押します。
4. Quarkフォルダへ移動します。""QuarkXPress 2019"という名前のフォルダを、内容ごと削除します。
5. QuarkXPressを再起動します。

すべてが正常に実行されたら、"QuarkXPress 2019"フォルダのバックアップを作成します。これによって、次に問題が発生した場合はフォルダを削除する必要なしに、フォルダの内容をバックアップの内容に置き換えるだけで問題を解決できます。

依然として問題が解決しない場合は、[www.quark.com/support](http://www.quark.com/support)で以後の対応を調べてください。

# QuarkXPress Document Converter

QuarkXPress 6またはそれ以前のバージョンのドキュメントを開くには、まず QuarkXPress Document Converterを使用して、ファイルをバージョン9に変換してください。

QuarkXPress Document Converterは、レガシーのQuarkXPress 3.x~6.xのドキュメントのみをQuarkXPress 9.1に変換しますが、フローバージョンのアップグレードは行いません。これらの変換されたドキュメントをQuarkXPress 2019で開くと、テキストフローバージョンがアップグレードされ、ドキュメントのバージョンと等しくなります。これによって、テキストがリフローされます。ユーザーが、レガシーバージョンのドキュメントのテキストフローバージョンをQuarkXPress 9.xで（Option/Altキーを押してドキュメントを開き）更新してから保存した場合も、同じ動作が行われます。

QuarkXPress Document Converterは次の場所にあります。

macOS: <http://www.quark.com/en/Support/Downloads/Details.aspx?fid=289>

Windows: <http://www.quark.com/en/Support/Downloads/Details.aspx?fid=288>

サポート対象のプラットフォーム：

- macOS: Yosemite (10.10.5)、El Capitan (10.11.6)、Sierra (10.12.6)、High Sierra (10.13.6)、Mojave (10.14.x)
  - Microsoft Windows 7 SP1 (64ビット)、Windows 8.1 (64ビット)、Windows 10バージョン1803 (64ビット) またはそれ以降
- ➡ Microsoft® Windows® 7をお使いの場合は、Microsoft .NET Framework 4かそれ以降のバージョンをインストールしてアプリケーションを起動してください。
- ➡ QuarkXPress Document Converterの新規アップデートが、Quark Auto Updateで利用可能です。

# Quarkへの連絡

サポートポータルでは、サポートチケットの記録、チケットの追跡、状況通知の取得、テクニカルサポート担当者とのチャット、ナレッジベースの検索、製品ドキュメントへのアクセスが可能です。

QuarkXPressやApp StudioからQuarkのエンタープライズソリューションまで、すべてのQuarkのソフトウェアからドキュメントに直接アクセスして、いつでも問題の答えを見つけることができます。また、保守契約を契約中のお客様は、サポートポータル経由またはお電話でQuarkのサポートチームを利用することもできます。

サポート付きの製品を購入および登録した場合、登録日から起算して最初の60日間はサポートは無料です。60日間のサポートは、登録した日から開始します。まだご登録でないお客様は、まずは[ここから](#)ご登録ください。

サポートをご希望の場合、アクティベーションとライセンスに関するお問い合わせ以外は、1回ごとにサポート料金をお支払いいただくか、もしくはQuarkXPress Advantageプランをご購入いただく必要がございます。

QuarkXPress Advantageでは、QuarkXPressのすべてのアップグレードとアップデートを入手できるほか、ご利用期間中はいつでも無制限のテクニカルサポートを受けることができます。

## 南北アメリカ

詳細は、Quarkのサポートウェブサイト[www.quark.com/support](http://www.quark.com/support)を参照してください。

## 南北アメリカ以外の国々

南北アメリカ以外の国では、以下のサイトでサポートアカウントにアクセスしてください。

サポートウェブサイト

- France - [www.quark.com/fr/support](http://www.quark.com/fr/support)
- Germany - [www.quark.com/de/support](http://www.quark.com/de/support)

# 法律上の注記

© 2019 Quark Software Inc. and its licensors. All rights reserved.

Quark、Quarkロゴ、QuarkXPress、QuarkCopyDeskは、Quark Software Inc.とQuark関連会社の米国およびその他各国における商標または登録商標です。その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。